

# 平成 27 (2015) 年さけます来遊状況 (第 4 報 : 10/31 現在)

## 4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産総合研究センター  
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道の 10 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2011 年級) は前年を上回るが 5 年魚 (2010 年級) は減少
- 北海道の日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、4 年魚が 1994 年以降の平均的な水準を上回り、太平洋側 (根室～えりも以西海区) ではそれを下回る
- 両地域とも、5 年魚 (2010 年級) は前年同期及び 1994 年以降の平均を下回る
- 北海道のサケの平均重量は 3.44kg で、前年同期と同水準

### ・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、10 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2011 年級) が全体の 64% と最も多く、次に 5 年魚 (2010 年級) が 29% を占めました。4 年魚は前年同期の 177% と前年を上回りましたが、5 年魚は前年同期の 61% あまりと減少しました。1994 年以降の平均値との比較では、それぞれ 100% と 54% であり、5 年魚が過去の平均よりも少ない状況です。また、3 年魚 (2012 年級) も前年同期 60%、1994 年以降の平均の 73% と、前年および過去を下回っています (図 1)。

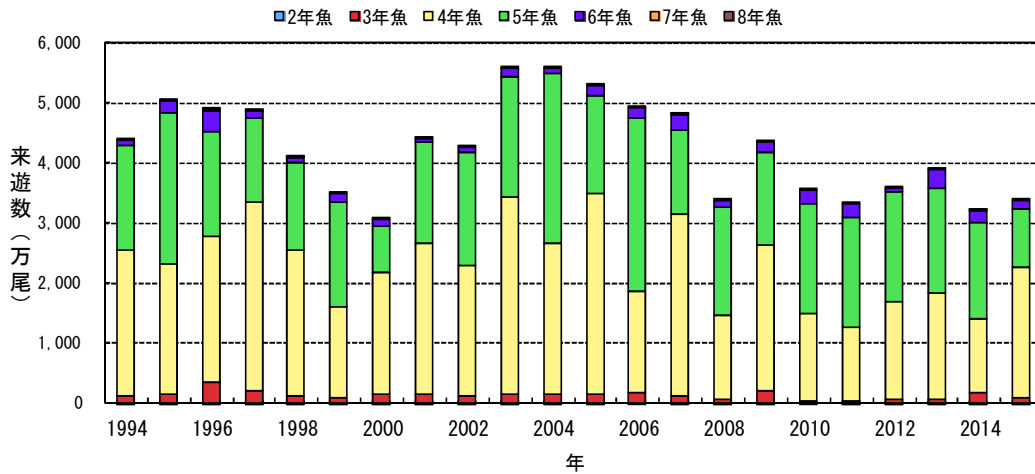


図 1. 10 月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道).

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2011年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、近年（1992年級以降）の平均の102%と平均的水準です（図2）。一方5年魚である2010年級は、5年魚までの来遊数（2～5年魚の来遊数）でみた場合、1992年級以降で最も少なくなっています。

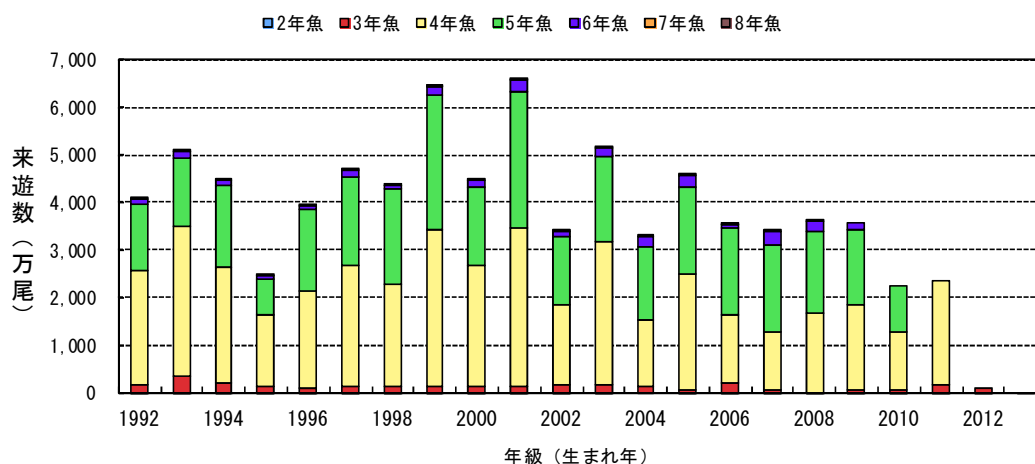


図2. 10月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期の202%ですが、近年（1994年以降）の平均値と比べると88%あまりと近年の平均的水準よりもやや少ない状況です。5年魚は前年同期の54%、近年の平均値の45%と少なく、1994年以降で2番目に低い水準となっています（図3）。一方、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）の4年魚は近年の平均値の115%と良好な回帰ですが、5年魚は同平均値の63%あまりとなっています（図4）。また、9月末時点で出現が目立った太平洋側の3年魚は、10月末の推定では前年同期78%、近年の平均値の93%と、近年の平均的水準に近い状況になっています。日本海側の3年魚は近年の平均値の51%と少ない状況です。

なお、サケの年齢組成は来遊時期の初めの頃には5年魚や6年魚といった高齢魚の割合が高く、シーズンが進むにつれて3年魚や4年魚の割合が高くなる傾向があります。

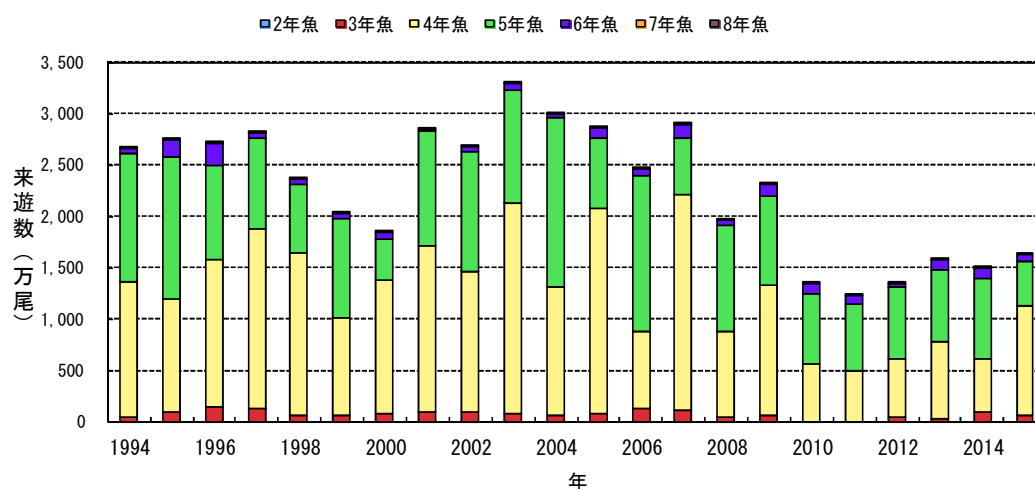


図3. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

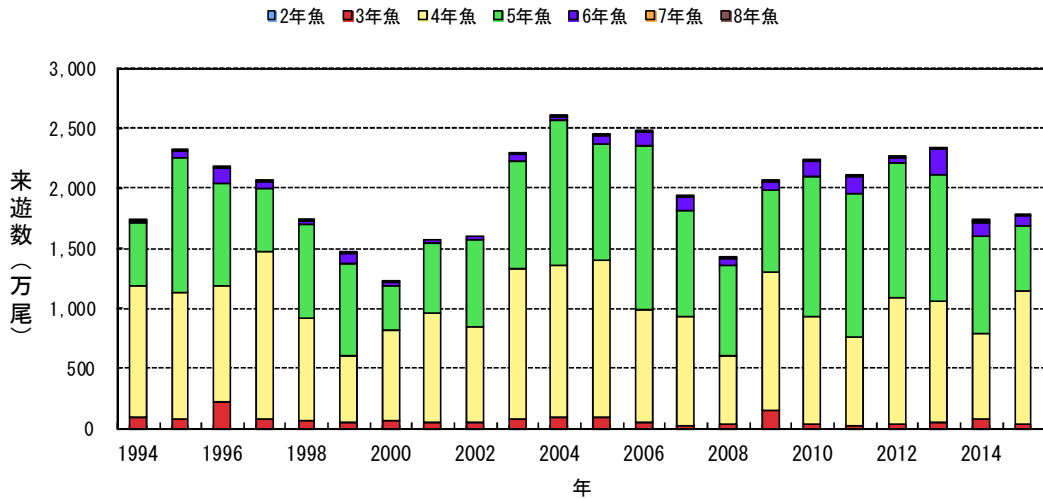


図4. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における10月31日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.44kgであり、これは前年同期の99%に相当します。平成元(1989)年～平成26(2014)年の同時期（10月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは近年では平成21（2009）年～平成22（2010）年及び平成26（2014）年に近い水準となっています（図5）。

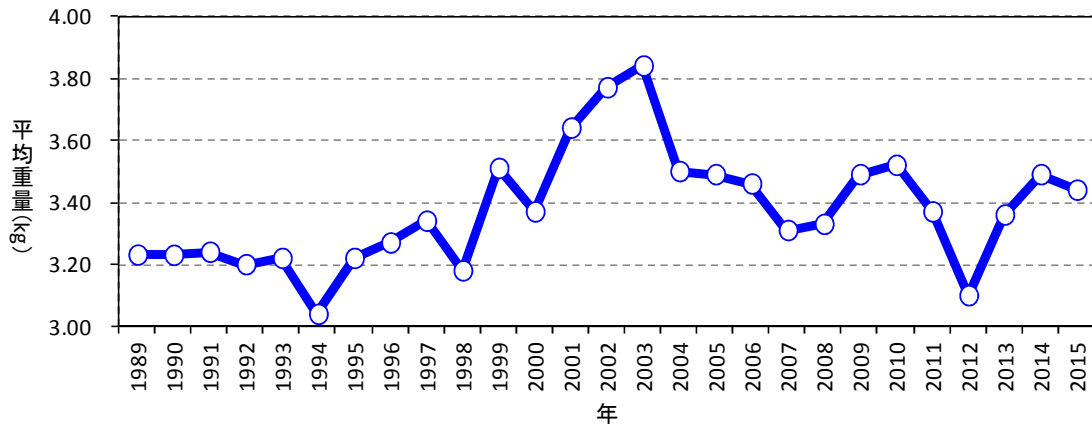


図5. 10月末時点のサケ平均重量（北海道）.